

1 調査日 平成24年2月8日（水）

2 調査の概要

(1) クリーンセンター滋賀（甲賀市甲賀町）

クリーンセンター滋賀は、県内唯一の管理型最終処分場であり、産業廃棄物等の適正処理を通じて、生活環境の保全と県内産業の健全な発展に貢献されている。しかし、近年の産業界におけるゼロエミッションの取組等の進展に伴い、処分量は当初見込みを下回っていた。このため、今後の経営のあり方を抜本的に見直すこととし、県の支援のもとにクリーンセンター滋賀を管理運営する(財)滋賀県環境事業公社が経営改革に取り組まれている。また、昨年度には遮水シート破損事故が、本年度には廃棄物搬入車両の過積載の問題が発生し、再発防止と信頼の回復にも努められている。当施設の概要および産業廃棄物の処理状況について調査を行った。



(2) 愛知川地域用水対策施設（永源寺ダム等）（東近江市永源寺）

永源寺ダムをはじめ、愛知川地域の農業用水路の多くは、整備後 30 年以上経過し老朽化が進んでいる。そのような中で、新たな用水計画策定に向けた国営土地改良地区調査「湖東平野地区」が実施されており、国から示された事業構想(案)について、関係者間で検討されているところである。国営事業では、用水の確保として、永源寺ダム湖の掘削や既設調整池等の有効活用、水路等の改修・更新などが検討されている。

また、県では、基幹から末端にいたる全ての農業水利施設を資産としてとらえ、効率的、効果的に保全更新を図る「農業水利施設アセットマネジメント」の構築を進めており、当該地域の用水対策においても施設の長寿命化や適切な維持補修の観点から実施される。

今回、愛知川地域における用水対策および農業水利施設アセットマネジメントについて調査を行った。

